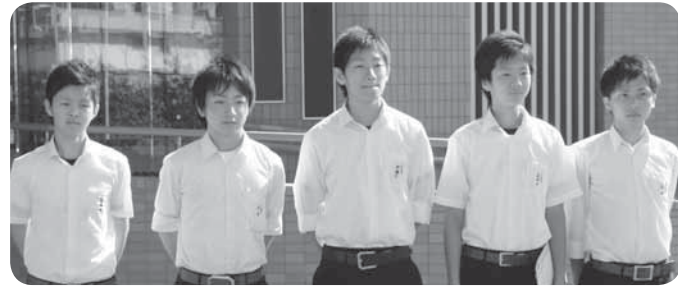


こども特派員が行く!!

このコーナーは、小・中学校の子どもたちが自分たちで編集・発行する「特派員」となり有田市の良さを伝えてくれます。今回のこども特派員は、文成中学校の宮井成登さん、谷輪拓実さん、伊藤力亮さん、石井雄也さん、山本凌雅さんです。

※紙面の文章及び掲載の写真はこども特派員によるものです。



滝会館いっばいに響く太鼓・笛の音色

お盆すぎから始まった練習は、宮原祭本番まで続きます。この日も、若い人からベテランの方まで、熱のこもった練習が午後9時過ぎまで続きました。練習の締めくくりに、全員そろって迫力ある演奏を聴かせてくれました。

僕たちが驚いたのは、子どもたちが使っている笛が、すべて手作りだということです。笛作りの達人、川口朝誠さんのお話では、2時間ほどで1本の笛ができて上がるそうです。ただし、気合を入れて手の込んだ笛を作る時は、1本完成させるのに3日かかることもあります。あらためて、なぜ笛を手作りにするのかお聞きすると、「かきやすくて、子どもがすぐ飽きてしまっから」なんだそうです。



宮原祭に向けてみんなががんばってます

手作りだから「つながる」

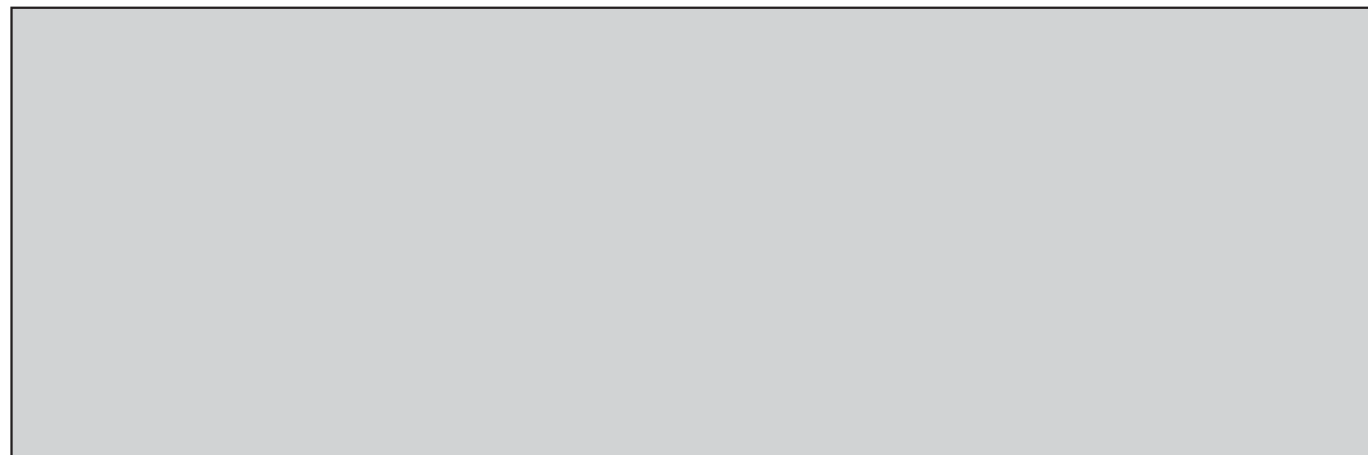
取材の最後に、「僕たち中学生にも何かできることはありますか」という質問をする。そこにかく地域の祭に参加してほしい」という答えが返ってきました。保存会の一員である眞真生さんは、僕たち中学生を地域の未来を背負う「金の卵」だとおっしゃっていました。保存会の方々とお話をしていると、この有田市を発展させてほしいという熱意が伝わってきます。

「僕たちも有田市の未来とつながっているんだなあ」そんな思いをもった1日でした。



多喜祭会こども獅子舞のメンバー

広告

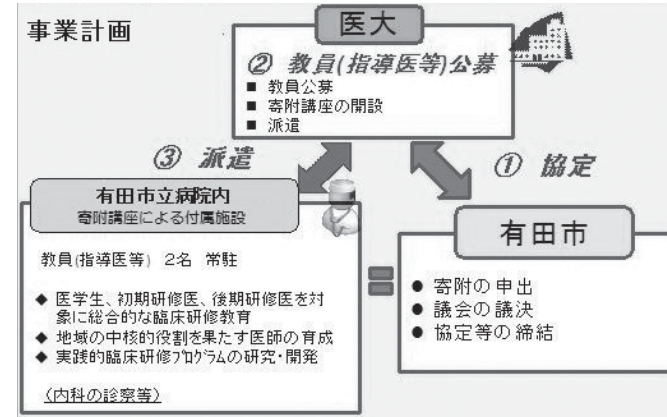


Hospital Topics



募集職種／看護師、准看護師、薬剤師、理学療法士及び作業療法士
採用予定人数／各職種とも若干名
受験資格
●看護師・准看護師
3交代勤務可能な方
●薬剤師
昭和49年4月2日以降に生まれた方
●理学療法士及び作業療法士
昭和55年4月2日以降に生まれた方
※いずれも募集職種の免許を有する方
※地方公務員法第16条（欠格事項）の規定に該当しない方
※日本国籍を有する方
試験内容／面接試験
採用予定日／試験の結果、内定者と協議のうえ、決定し採用します。ただし、地方公務員法第22条の規定により6ヶ月間は条件附採用となります。
提出書類／採用試験申込書、受験職種の資格免許証の写し
※採用試験申込書については市立病院ホームページからダウンロードまたは市立病院医療課庶務係で交付します。

市立病院職員募集（通年募集）



有田市の和歌山県立医科大学において、地域医療の充実のために欠かせない指導医等の医師確保を目的として、有田市の寄附による講座を和歌山県立医科大学が設置します。担当指導医等となる医師については、和歌山県立医科大学が寄附講座の教員として全国公募し、採用された教員は和歌山県立医科大学の付属施設として有田市立病院で研修医の指導や人材育成、地域医療に関する研究等を行うとともに、診療業務も行います。

有田市の寄附により和歌山県立医科大学が寄附講座を設置

この10月より、南和歌山医療センターより赴任しました。市立病院の循環器外来では木曜日を担当し、高血圧・慢性心不全等の循環器疾患を診させていただきます。新天地での環境に早く慣れ、地域の皆様に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。



玉置哲也 (循環器科)

新任医師紹介

外来診療科の休診

市立病院の外来診療で、特に応援医師しかいない診療科につきましては、医師の都合により休診となる場合があります。皆様にはご迷惑をお掛けすることがございます。休診日等については、わかり次第、院内掲示や当院ホームページに掲載しますので、ご覧いただくか、お問合せくださいますようお願いいたします。

広告

